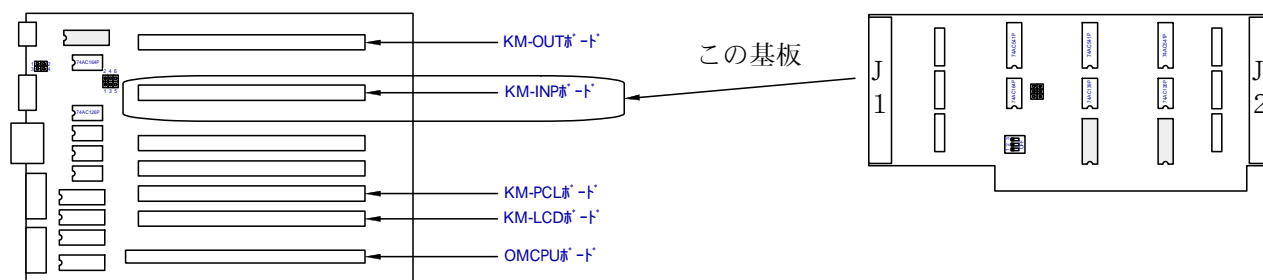


＜ノイズ防止用コンデンサの取り付け方法＞

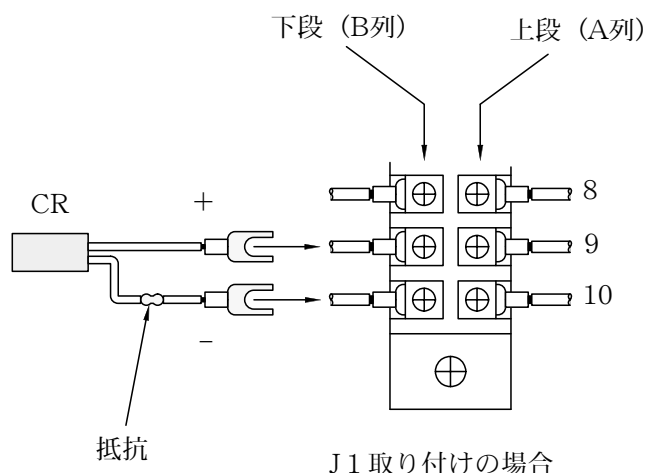
現在ご利用頂いているSA-366型で「ガイドシュート」と「クランプ」の開閉時のリミットスイッチからの入力信号を受ける時に、開閉の衝撃で信号が乱れるの判明しました。従ってその防止をするため、入力基板に同梱したCR部品の取付をお願いしたく、本書にてご説明を致します。

この部品は基板に取り付けますので、基板が取り出せるようにして下さい。基板の取り付け位置は、表示画面の裏または機械下の制御盤にあります。基板は1枚のマザーボードに5枚縦側に差し込まれていますが、「KM-INP」と表記された基板に取り付けます。（下記参照）

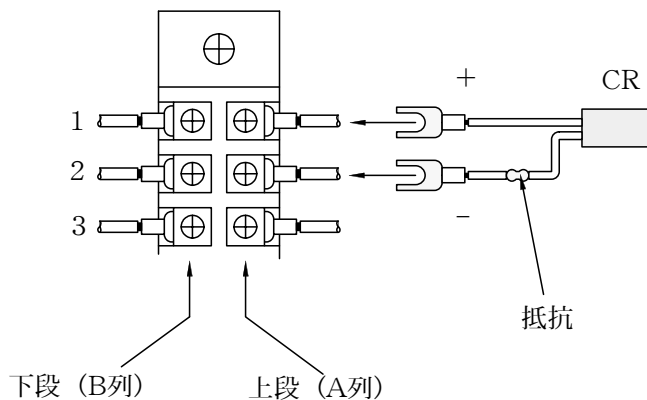


KM-INP基板の両側には端子台がありますので、その端子台の「J1」と「J2」に取り付けます。

左図はJ1の基板に取り付ける方法です。B列の9、10番に現在取り付いている端子と一緒に取り付けて下さい。



左図はJ2の基板に取り付ける方法です。B列の1、2番に現在取り付いている端子と一緒に取り付けて下さい。



抵抗が付いていることで極性があります。間違いの無いように取り付けて下さい。